

# 令和7年度事業報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

# 令和7年度事業報告

(一般社団法人 長野県自動車販売店協会)

## 【事業総括】

令和7年度、国外では、令和4年2月に開始されたロシアによるウクライナ侵略が長期化するとともに、本年3月におけるイスラエル・米国によるイラン攻撃を契機とする中東情勢の緊迫化で、原油価格と天然ガス価格が急騰しており、これらエネルギー価格高騰の長期化が日本経済に与える影響が懸念されている。

また米国では、就任2年目に入ったトランプ政権が、中間選挙をにらみ自国第一主義の姿勢を一段と鮮明にし、その政策が円滑な経済活動の重石となるほか、中国の供給力強化が世界の需給バランスの歪みを広げる可能性も懸念されている。

一方国内に目を向けると、10月には国会の首班指名により高市早苗氏が就任し、日本初の女性総理が誕生した。我が国の経済は、米国の想定を超える関税政策の影響により金融政策や為替相場、輸出を中心に想定外の展開となった。物価も想定以上に上昇が加速したが、個人消費は賃金上昇や雇用拡大、低価格品シフト等により底堅く推移した。

また令和8年度税制改正大綱において、自動車税環境性能割が廃止されたことは大きな前進となったが、他方、保有課税の設計等に係る税制改正議論は、令和9年度税制改正に先送りされた。

自動車産業においては、年度当初は一昨年発生した一部メーカーによる認証不正問題の反動により販売台数が増加したが、賃上げを上回る物価の上昇で、生活必需品である米などで高値が続き、ユーザーの生活防衛意識の高まりも影響してか令和7年度としては全国で前年度対比3.5%減の2,867,595台と4年ぶりに前年度を下回った。

なお長野県においても、登録車の新車販売台数が48,247台と前年度対比4.8%減という状況になった。

このような情勢の中、協会では「地域環境に優しい安心な街づくり」と「快適な交通事故のない安全で明るい街づくり」の推進を基本方針に、関係行政機関をはじめ関連団体等と緊密な連携を図りながら事業活動の推進に取り組んだ。

協会事業の具体的な推進内容・実施結果等については、次頁以下のとおりである。

## I 消費者問題に対する調査支援事業

### 1 ユーザーの意見を聴く懇談会の開催

懇談会は、信州大学、清泉大学・同短期大学部、長野県立大学、長野自動車大学校、松本情報工科専門学校の学生24名を招き、「若者の車離れ」と言われる中、車に対する関心、自分が思う夢の車・理想の車、安全運転支援機能やエコカーに関する考え、魅力あるディーラーとは何か等、自動車業界の在り方を探る機会となった。学生からは、自由活発な意見や質問が出され、有意義な懇談会となった。また、懇談会内容は資料として編冊し、会員社及び関係機関等へ配布するとともに、協会ホームページに掲載した。

開催日：令和7年11月12日（水）

会場：ホテルメトロポリタン長野

出席者：信州大学工学部及び大学院5名

清泉大学・同短期大学部5名

長野県立大学：4名

長野自動車大学校5名

松本情報工科専門学校5名

その他：信州大学工学部 高山 潤也 准教授

SBC信越放送 中澤 佳子 アナウンサー

協会関係者16名



宇都宮理事長挨拶



出席された学生

### 2 自動車ユーザー1,000人に対するアンケート調査の実施

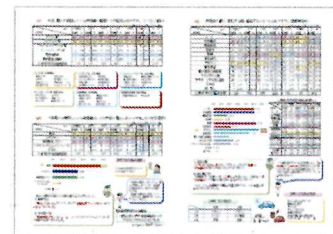
自動車販売、点検整備、次世代自動車、防犯対策、交通安全、環境に関する設問を設け、令和7年9月から11月の間、県下各販売店に来店したユーザー1,000人を対象にWEB形式にてアンケートを実施し、合計842名から回答を得た。

#### <結果概要>

回答者数842名のうち男性61.2%、女性37.6%、未回答1.2%であった。年代別の回答者では、50代の回答者が最も多く26.4%、次いで40代、30代の順に回答者が多かった。

自動車購入等に関する設問では、「自動車のデザイン」を重視する人が56.9%でトップを占め、次いで「燃費」「安全機能」の順となった。また、自動車の点検（車検）先を選ぶ際のポイントに関する設問では、「安心感」を重視する人が76.6%、次いで「サービスの質」「スタッフの人柄」の順となった。

回答内容と分析結果を資料として取り纏め、会員社や関係団体等へ配布するとともに、協会ホームページに掲載した。



回答結果資料

## II 交通安全及び福祉増進支援事業

### 1 交通安全対策事業

#### (1) 子どもと高齢者を対象とした交通安全教室の開催

交通安全教室の開催は、大切な命を悲惨な交通事故から守り、安全で快適な生活を送るための支援活動の一環として、協会が委嘱した特別交通指導員7名により、保育園、小中学校等からの要望に基づいて計画的に実施した。

<対象別回数・受講者数>

計90回開催・11,770名受講

対象	開催数	割合	受講者数	割合
園児	38回	42.2%	2,445名	20.8%
小学生	24回	26.7%	7,319名	62.5%
中学生	5回	5.6%	1,106名	9.4%
高齢者	20回	22.2%	750名	6.4%
一般	3回	3.3%	105名	0.9%
合計	90回		11,770名	

<開催地>

北信地域	18か所	東信地域	43か所
中信地域	23か所	南信地域	6か所

<開催概要>

園児には、『楽しみながら命の大切さと事故の恐ろしさを学ぶ』をモットーに、交通ルールやチャイルドシートの必要性などを伝えた。小中学生には、ダミー人形を使用しての衝突実験や、トラックを使用した車の死角や内輪差について身をもって感じることができ、体験型安全教室の実施に努めた。

高齢者には、高齢者事故が増加していることから、交通事故の被害者と加害者の両面から見た事故防止について、腹話術や寸劇を通じて、交通ルールを再認識できる内容により実施した。更に、多発する「特殊詐欺（電話でお金詐欺）」の被害に遭わないため、寸劇等を通じ被害予防の意識付けにも努めた。



指導員による腹話術



トラックの内輪差実験

(2) セーフティアドバイザーの育成と交通安全啓発活動の推進

① セーフティアドバイザー等研修会の開催（開催時期：6月）

セーフティアドバイザー等の交通安全意識の高揚と活動の活性化を図るため、県内2か所で研修会を開催した。

中南信会場：令和7年6月5日（木）参加者102名

東北信会場：令和7年6月6日（金）参加者114名

講師：長野県警察本部交通部交通企画課 担当者

「交通事故の発生状況と交通事故防止・  
道路交通法の改正点」

日本自動車連盟長野支部 担当者

「予測運転のススメ」

長野県自動車販売店協会 担当者

「認知機能検査の疑似体験」



中南信会場



東北信会場

② 交通安全啓発資料の提供

会員社において、従業員や来店者等に対する交通事故防止に向けた指導・啓発に使用する資料として、県警本部から提供される交通安全啓発資料等を基に、毎月1回「交通安全ニュース」を作成・発行し、各社総務部会委員を通じて各拠点のセーフティアドバイザーへ情報提供した。

(3) 交通安全運動における交通安全街頭指導活動等の推進

① 交通安全運動への積極的な参加

春・夏・秋・年末の年4回の交通安全運動では、県内16地区流通合理化委員会（普通車・大型車）を中心に、関係警察署並びに地方事務所交通安全担当者と連携をとりながら、各街頭指導所にて交通安全の啓発活動に従事した。

<街頭活動実施回数>

出動人員：延べ30か所356名

春	11か所／133名	夏	5か所／66名
秋	9か所／116名	年末	5か所／41名

啓発用品の配布（配布可能地区のみ） ガラスコート 1, 100個

② マスメディア等を活用した交通安全キャンペーン等の支援

年4回の交通安全運動期間を中心に啓発活動に努めた。（合計13件）

4月	信濃毎日新聞・日刊自動車新聞	2件
6月	信濃毎日新聞	1件
7月	信濃毎日新聞	1件
8月	信濃毎日新聞	1件
9月	信濃毎日新聞・日刊自動車新聞・長野日報	3件
11月	信濃毎日新聞	2件
12月 ～1月	信濃毎日新聞 長野朝日放送（テレビCM：10本・駅前ビジョン：50回）	2件
2月	信濃毎日新聞	1件

(4) 安全運転サポート車（サポカー）体験会の支援

高齢者ドライバーによる交通事故の割合が増加していることを受け、長野県警やシニアクラブと連携し、会員社の協力による交通事故防止効果の高い安全運転サポート車の先進安全技術を体感できる「サポカー体験会」を実施した。

<開催状況>

申込件数：74件 実施件数：53件  
中止延期：21件 参加人数：1, 581名



サポカー体験会

<感謝状受賞>

多年にわたる交通事故の被害防止や被害軽減効果のある安全運転サポート車の普及促進を図るための安全運転サポート車の体験会を継続して開催した功勞として、令和7年4月1日、鈴木達也県警本部長より宇都宮進一理事長へ感謝状が贈呈された。



感謝状贈呈式

## (5) 県民自動車ユーザーを対象とした車両点検教室の開催

これまで車両点検教室を実施する場合、開催地区のサービス部会地区委員及び長野県自動車整備振興会地区委員が共同でユーザーへの啓蒙活動を行っていたが、両委員の重複が多い状況を踏まえ、令和7年度は整備振興会が単独で実施する形となった（6月～11月：県下8か所で実施）。なお、チラシ・ポスター等については、協会が会員社へ配布し、来店したユーザーに対し日常点検の必要性および重要性について啓蒙活動を行った。

## (6) 行政等と連携した交通事項防止活動への支援・協力

### ① 長野県主催の「交通事故ゼロチャレンジ」事業への参加・協力

「2025高校生交通安全CMコンテスト」は、7月から9月に応募のあった9校32作品（テレビ部門22作品、ラジオ部門10作品）を、収録したDVDにより審査した。入選作品には表彰を行うとともに、各部門の上位入賞作品はSBC（信越放送）を通じて交通安全スポットCMとして放映・放送されている。

<グランプリ作品>

テレビ部門	松本県ヶ丘高校	「何グラム？」
ラジオ部門	大町岳陽高校	「ヘルメットは命を守る！」

### ② 長野県高齢ドライバー運転事故防止関連対策懇談会への参加・協力

令和2年に策定された「長野県高齢ドライバー運転事故防止関連対策指針」に基づき、安全運転サポート車、安全運転支援装置等の普及促進に向け、会員社の協力によるサポカー体験会を継続的に実施した。

## 2 福祉増進支援事業等

### (1) 長野県等が行うイベントへの参加・協力

長野県、市町村、社会福祉協議会等からの要請により給電車両等を展示するイベントに参加をし、来場者に対する防災意識等の啓蒙に協力をするとともに、次世代自動車の機能周知を図った。

<出展イベント詳細>

#### ① 長野しんきんビジネスフェア

開催日：令和7年5月14日（水）

会場：ビッグハット

#### ② NAGANO防災FES

開催日：令和7年9月28日（日）

会場：ホワイトリング

#### ③ 信州住宅フェア

開催日：令和7年10月12日（日）

会場：ホワイトリング

#### ④ 赤ちゃんとママを守る防災フェスタ

開催日：令和7年11月3日（月・祝）

会場：安曇野市防災広場

#### ⑤ 豊丘村福祉まつり

開催日：令和7年11月8日（土）

会場：豊丘村社会福祉協議会駐車場



長野しんきんビジネスフェア



NAGANO 防災 FES

## (2) 災害対応への支援・協力

令和7年11月の経営会議の席上、令和6年の奥能登豪雨災害に対する支援で連携した日本カーシェアリング協会の吉澤武彦代表理事より災害発生時の支援に関する説明を受け、今後の連携・協力を確認した。

## (3) 公益財団法人日本自動車教育振興財団への支援・協力

長野県自動車教育推進協議会の事務局として、振興財団が行う各高校を対象とした自動車技術社会教育を推進する事業活動への支援を行った。

今年度は、令和7年11月10日(月)、ホテルメトロポリタン長野に於いて「自動車教育用教材贈呈式」を実施し、長野県須坂創成高等学校・長野県駒ヶ根工業高等学校・長野県飯田OIDE長姫高等学校の3校に対し、教育用教材の提供を行った。また、同年5月26日(月)に(株)甲信マツダに依頼し、担当者2名が長野県下伊那農業高校で講義を実施したほか、(協)長野県中古自動車リサイクルセンターからは、県外の10校に対し教材用エンジン合計36機を提供した。

## III 防犯活動及び環境保全助成事業

### 1 防犯活動事業

#### (1) 不当要求防止責任者講習会の開催(9月)

会員社において、自動車販売をめぐる反社会勢力からの不当要求行為に適切な対応が図れるよう、各社の不当要求対応責任者に対する講習会を実施した。出席者には「受講修了書」と「不当要求防止責任者の選任事業所」の証明書を交付した。

中南信会場：令和7年8月7日(木) 参加者98名  
東北信会場：令和7年8月8日(金) 参加者84名  
講 師：長野県警察本部刑事部組織犯罪対策課  
暴力団排除推進室 担当官  
長野県弁護士会民事介入暴力対策委員会  
所属弁護士2名  
(公財)長野県暴力追放県民センター  
専務理事



講習会(東北信会場)

#### (2) 犯罪・暴力のない社会環境づくりに寄与するための支援

地域社会の防犯活動や暴力追放啓発活動に尽力している「公益社団法人長野県防犯協会連合会」、「公益財団法人長野県暴力追放県民センター」に対する助成のほか、会員社における自主防犯活動、暴力追放運動に対する啓発活動に努めた。

#### (3) 地域社会と連携した防犯活動

令和7年9月10日(水)に開催された長野県自動車盗難等防止対策連絡会に出席し、自動車に関する盗難の発生実態について情報共有と防犯対策について検討したほか、「こどもを守る安心の家」、「こども110番の車」の活動も継続して取り組んだ。

### 2 環境保全事業

#### (1) 地球環境保全活動への参加・支援

「信州豊かな環境づくり県民会議」の会員として、環境美化・自然保護活動等の業績が顕著な団体に贈られる令和7年度表彰に際し、ユエグループの「森林の里事業(うっぴいの森)」の取り組みが表彰された。



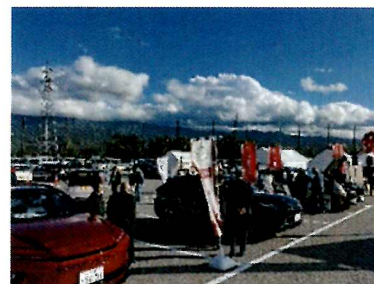
令和7年度表彰式

その他「一般社団法人長野県環境保全協会」、「公益財団法人長野県緑の基金」、「信州の屋根ソーラー普及検討会」の活動を支援し、助成活動を行った。

## (2) 環境に優しいクルマの普及を推進する啓発活動

### ① 長野県主催イベントへの参加・協力

令和7年7月5日(土)開催の信州環境フェア2025は、屋内でのワークショップを中心とした開催形態だったため、協会は不参加とした。また11月1日(土)・2日(日)開催の南信州環境メッセ2025では、飯田市のエス・バードにて、会員社6社の協力により合計9台の次世代自動車の展示・試乗を行い、環境に配慮した車の仕組みや災害時の非常用電源としての活用等、次世代自動車の魅力をアピールした。



南信州環境メッセ 2025

### ② 協会ホームページ等へのASV(先進安全自動車)の構造、性能の紹介及びエコドライブの啓発記事掲載

ホームページ利用促進検討会議にて、ホームページに掲載中のコンテンツ内容について見直しを図り、特に次世代自動車の種類やエコドライブ方法の内容等について令和7年7月に改修・更新を実施した。

## (3) 環境問題対策及び環境保全活動の支援

### ① 環境に優しい自動車整備優良品表彰に係る支援・助成

国土交通省北陸信越運輸局並びに長野運輸支局の表彰制度に対し、協会では2社10拠点を推薦し、循環型社会への参加意識の高揚を図るとともに、表彰を受けた事業場を広く公表することにより、自動車使用者の利便性向上に繋げた。また、受賞社に対し記念プレート等の贈呈を行った。



令和7年度表彰式

### ② 春季・秋季における環境美化活動の推進・参加

長野県が主唱する「きれいな信州環境美化運動」に参加し、地域の環境美化に努めるとともに環境美化活動の輪を広げるための啓蒙活動に取り組んだ。

春季	実施期間	令和7年5月25日(日)～6月30日(月)
	参加会員	会員26社・309拠点・3,919名
秋季	実施期間	令和7年10月1日(水)～10月31日(金)
	参加会員	会員25社・299拠点・3,732名

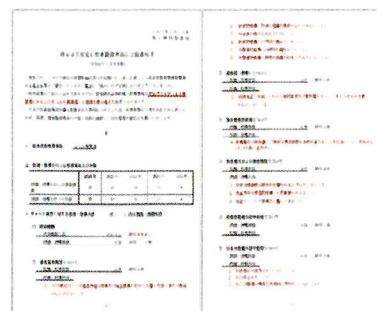
春・秋共に、(一社)長野県自動車販売店協会、(一財)日本自動車査定協会長野支所、長野県自動車販売店健康保険組合、(一社)日本自動車連盟長野支部、(協)長野県中古自動車リサイクルセンターの職員も参加をした。



環境美化運動の様子

### ③ 指定自動車整備事業自主監査の実施

第45回を迎えた指定自動車整備事業場の自主監査事業では、サービス部会委員を中心に、県内指定工場250拠点に対し監査を10月に実施し、その結果を纏めサービス部長及びサービス部会地区委員長宛に文書にて報告を行った。



自主監査結果報告書

## (4) 循環型社会形成の実践

### ① (協) 長野県中古自動車リサイクルセンターが行う使用済自動車の回収処理を通じて、県民に対し廃棄物の適正処理とリサイクルの有益性について広報啓発

各会員(組合員)との連携の下、使用済自動車入庫促進に努め、フロン回収や解体並びに処理部品の再利用化に向けた取り組みを行った。また、リサイクルセンターの施設見学では、北陸信越運輸局、松本市入山辺地区衛生協議会や八十二リース上田支店をはじめ、東御市・上田市の小学4～5年生の計9組265名の見学があり、累計1,033団体、11,624名の見学者となった。

### ② 地域環境啓発活動の普及促進

環境月間(毎年6月)に合わせて実施する環境美化運動と地域環境保全に関する啓発ポスターの掲示を行い、啓発活動の推進に努めた。

## IV 自動車流通の健全な発展に寄与するための事業

### 1 オートオークション事業

#### (1) オートオークションの開催

開催回数：11回 開催概要：令和7年4月～令和8年3月

項目	令和7年度	令和6年度	対前年比
開催回数	11回	11回	100.0%
出品台数(平均)	202台	210台	96.3%
成約台数(平均)	200台	207台	96.4%
成約率(平均)	98.6%	98.5%	+0.1%
売上高(平均)	61,706円	48,568千円	127.1%
台当単価(平均)	309千円	235千円	131.8%
参加人員(平均)	95名	99名	96.6%
評価点(平均)	2.61点	2.45点	+0.16点

#### <開催総括>

今年度は、平均成約率98.6%を達成し過去最高となった。更に令和7年12月および令和8年3月開催では、これまでの最高となる成約率100%を達成した。実施10年目となる「スターコーナー」では、今年度の出品台数は157台、成約台数は154台、成約率が98.1%となった。



コンダクターによるセリ

## (2) オートオークション事業を運営する会議の開催

### ① 運営委員会

オークション開催日に合わせ、正副運営委員長、正副実行委員長、進行部責任者と開催詳細や懸案事項、中古車部会事業に係わる事項等について討議した。

### ② 実行委員会

令和7年11月27日(木)にホテルメトロポリタン長野で開催し、令和8年度オートオークション開催計画等について検討した。

### ③ 運営会議

オークション終了後、進行部、会計部、事務局担当者が出席し、主に運営面に関する反省点や諸課題について意見交換を行った。

## (3) コンダクター等研修会の実施

コンダクターのセリ技術及びオークションの運営能力向上と成果向上に繋げるため、令和8年2月19日(木)・20日(金)、アライオークションベイサイド会場を視察し、オークション運営方法および会場づくり等を研修した。



コンダクター等研修会

## (4) オートオークションシステムの運用

令和6年10月から正式運用を開始したNDAAシステムについて、システム制作担当者とオンラインでの定例会議を開催。会員各社から寄せられた動作等の不具合やレイアウト変更等の要望を報告・共有し、改修対応に努めた。

## 2 中古車フェア事業

### (1) 中古車フェア等のイベント開催（自販連支部との共催事業）

ユーザーへ保証・メンテナンスが充実したディーラー認定中古車を提供し、購入後の総合満足度を高め、自動車ディーラーと大型専門店との違いを鮮明にするための「信州カーディーラー中古車フェア」を開催した。開催方法は、ビッグハットでの会場型と店舗型のハイブリッド開催とした。

また、ビッグハットの会場では、信州ブレイブウォリアーズの選手及びチアリーダーチーム「ジャスパーズ」のメンバーを来場者の出迎えや抽選賞品プレゼンター等として招聘し、イベントの活気付けを図った。

開催日：令和7年7月19日(土)・20日(日)

会場開催：ビッグハット

参加社数：10社

展示台数：160台

成約台数：70台

店舗開催：参加会員の店舗

参加社数：16社・81店舗

総展示台数：1,600台

成約台数：144台



## (2) 会議の開催

令和7年度中古車フェア事業について、以下のとおり会議等を開催した。

開催日	会議名	会場
6年11月29日	第1回実行委員会	ホテルメトロポリタン長野
7年3月27日	第2回実行委員会	ビッグハット会議室
5月8日	第3回実行委員会	ビッグハット会議室
6月12日	第4回実行委員会及び会場型現地説明会	ビッグハット会議室
7月25日	店舗型大抽選会	長野県自動車会館
8月28日	第5回実行委員会	JAグリーンホールナミ
11月27日	中古車部会・AA実行委員会合同会議	ホテルメトロポリタン長野

## 3 適正な自動車点検整備推進事業

### (1) 適正整備事業場運営に資する研修会の開催

令和7年5月に開催された「不正改造車を排除する運動」会議に出席し、令和7年度の取組みについて確認した。また「不正改造車を排除する運動」強化月間にあわせ、会員ディーラーに対し県内2ヶ所で研修会（5月22日：長野市、6月12日：松本市）を開催し、東北信会場74名、中南信会場86名のサービス部門従事者が参加した。参加者からは「比較的曖昧であった整備内容の一部に対し、よりの確な断基準を持つことが出来た」などの声が寄せられた。



研修会場（長野市）

### (2) 完成検査実技研修会の開催

長野運輸支局及び自動車技術総合機構長野事務所の専門官を講師として招き、通常の座学研修のほか、より実践的な実技（完成検査）に係る研修を実施し、高度な専門知識を要する自動車検査員の疑問や不安解消及び適正検査の継続を推進した。本年度は研修を希望した会員のうち、8社（開催日順：日産プリンス長野販売（株）・（株）スズキ自販長野・（株）ホンダカーズしなの・松本日産自動車（株）・長野ダイハツ販売（株）・NTPトヨタ信州（株）・（株）甲信マツダ・（株）ホンダカーズ長野中央）のサービス部門従事者に対し各会員施設において研修会を実施し、参加者からは「有意義な研修会だった」との高評価を得た。



（株）スズキ自販長野 本社工場



（株）ホンダカーズしなの 東和田店

### (3) 国土交通省ネガティブ情報を利用した適正整備の推進

国土交通省が行った自動車整備事業者に対する行政処分について、同省が公開するネガティブ情報を利用した周知文書を作成し、適正整備及び法令遵守の再徹底を推進した。

### (4) 長野県自動車整備人材確保・育成連絡会に対する協力

令和8年2月、長野県自動車整備人材確保・育成連絡会に出席し、令和7年度の高等学校訪問の結果及び令和8年度の取組みについて協議した。

## (5) 長野県自動車適正使用・点検整備推進協議会に対する協力

令和7年9月、長野県自動車適正使用・点検整備推進協議会主催の「くるまと人のふれあいフェア」が上田市の「上田道と川の駅おとぎの里」にて開催され、サービス部会上田地区委員会の協力により、長野県自動車整備振興会上田支部と共同で車両点検教室を開催し、延べ235組の受講者に日常点検の実施方法、注意点等の説明を行った。



車両点検教室の様子

## V 会員との連携推進事業

### 1 各種会員サービスの充実

#### (1) 会員（役員・社員）の北陸信越運輸局長・長野運輸支局長表彰の推進

日程：令和7年11月7日（金）

会場：ホテルメトロポリタン長野

詳細：北陸信越運輸局長表彰 受賞者 2社2名

長野運輸支局長表彰 受賞者 4社9名



表彰受賞者の皆様

#### (2) 会員のニーズに応じた会議、研修、講演会等の開催

各部会に於いて委員向けにアンケート調査を行い、ニーズの把握に努めると共に、各会議、研修、講演会等の開催に向けて検討を行った。

令和7年7月に開催した総務部会では、長野県におけるゼロカーボン推進・戦略の具体的な取組みと今後の課題等の理解を深めるため、長野県環境部ゼロカーボン推進課担当者を招聘し、講演会を開催した。

開催日：令和7年7月25日（金）

会場：JAグリーンホールミナミ（長野市）

講師：長野県環境部ゼロカーボン推進課 担当者

テーマ：2050ゼロカーボンの現実に向けた長野県の取組み

### 2 情報共有・連携活動の推進

#### (1) 協会機関紙「NADA MAGAZINE（ナダマガ）」の発行

協会が行う主な事業や会員各社の協力により実施したイベント等について、内容や結果を会員へ広く情報共有するため、機関紙（ナダマガ）を作成し、毎月月初に全部会担当者へ送付した。また、協会ホームページにも併せて掲載を行った。

#### (2) 協会ホームページの内容充実

ホームページ利用促進検討会議を年4回（四半期に1回）開催し、協会ホームページのアクセス数分析や、事業活動・統計資料・関係行政からの通達等の掲載内容を検討し、会員に対するタイムリーな情報発信とホームページの利用向上に努めた。

#### (3) 地区流通合理化委員会・地区委員会活動を通じた連携・情報共有

① 普通車部会及び大型車部会の地区流通合理化委員会、サービス部会の地区委員会を通じ、協会事業の周知と協会への意見要望の把握に努めた。

② 春・夏・秋・年末の交通安全街頭啓発活動時に積極的に参加し、各地区委員との連携強化を図った。